

2017年12月吉日

関係団体各位

特定非営利活動法人青森音楽療法研究会
理事長 佐々木純子

音楽療法セミナー '17

『子どもの笑顔を引き出すコミュニケーション』～発達と感性～
(平成29年度青森市市民活動活性化事業) について (案内送付)

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素より当研究会につきま
しては格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、この度音楽療法セミナー'17を開催することとなりましたので、案内をお送り
いたします。

子どもの「発達」には他者との関わり（コミュニケーション）が不可欠です。特にハン
ディを持つ子どもたちの場合には、独自の「感性」を持っていることが多いため、それぞ
れの特性を良く理解した上で関わりを持つことが重要になります。

本セミナーI部の一般講演では、それぞれの分野でコミュニケーションについて研究実
績のある3名の先生に現場の様子を交えながらご講演いただきます。専門職を対象とした
II部のシンポジウムでは講師とセミナー参加者が意見交換できる時間を設けました。良好
なコミュニケーションを築くため、実践で活用できるアプローチ方法をご一緒に考えてい
ただけると幸いです。

また、休憩時間には障がい者施設の皆さまにご協力いただきカフェを開催いたします。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、揭示、回覧等していただき
是非ご参加願います。

～お問い合わせ～

特定非営利活動法人青森音楽療法研究会	
事務局 藤林	
住所	〒030-0943 青森市幸畑1丁目9-5
Tel	090-6258-7881
Eメール	mt_omori@yahoo.co.jp

音楽療法セミナー'17

笑顔 子どもの顔を引き出す コミュニケーション

発達と感性

2018年 2月4日(日)

《会場》アピオあおもり 大研修室1

I部 09:30~12:00 : 一般講演
II部 13:30~15:00 : 専門職シンポジウム
(専門職対象: 医療・保健・福祉・教育等の従事者)

《参加費》資料代が含まれます。
一般・学生: 500円 (I部のみ)
専門職: 2,000円 (I・II部通し)
※当日受付にてお支払いください。

《定員》80名 ※定員になり次第締め切らせていただきます。

障がい者施設による
カフェが開設されます。



講師

あみづか たかすけ
網塚 貴介 氏

(青森県立中央病院総合周産期母子医療センター副センター長・育成科部長)

しぶや やすのり
澁屋 康則 氏

(総合リハビリ美保野病院リハビリテーション科スーパーバイザー / 元国立障害者リハビリテーションセンター病院言語聴覚療法士長)

いくの りか
生野 里花 氏

(お茶の水女子大学基幹研究員、東海大学非常勤講師(音楽療法) / 野花ひととおんがく研究会主宰)

シンポジウム司会 まちた さとこ
町田 徳子 氏

(青森県発達障害者支援センター「ステップ」センター長)

申込方法はウラ面をご覧ください。

主催: 特定非営利活動法人 青森音楽療法研究会

共催: 青森県言語聴覚士会

後援: 青森県教育委員会・青森市・青森市教育委員会・公益社団法人青森県医師会・青森県私立幼稚園連合会・一般社団法人青森県保育連合会
青森県自閉症協会・青森県重症心身障害児(者)を守る会・一般社団法人青森県手をつなぐ育成会 / 東奥日报社・陸奥新報社・デーリー東北新聞社

※ 会場の駐車場には限りがございます。ご来場の際は公共交通機関または近隣の有料駐車場をご利用ください。



子どもの「発達」には他者との関わり(コミュニケーション)が不可欠です。特にハンディを持つ子どもたちの場合には、独自の「感性」を持っていることが多いためそれぞれの特性を良く理解した上で関わりを持つことが重要になります。本セミナーI部の一般講演では、それぞれの分野でコミュニケーションについて研究実績のある3名の先生に現場の様子を交えながら講演していただきます。また、専門職を対象としたII部のシンポジウムでは講師とセミナー参加者が意見交換できる時間を設けました。良好なコミュニケーションを築くために実践で活用できるアプローチ方法を一緒に考えていきましょう。



講師紹介

あみづか たかすけ
網塚 貴介 氏

札幌医科大学を卒業後、付属病院で小児科医として勤務。その後、北海道立小児総合保健センター新生児科、浦河赤十字病院小児科、青森県立中央病院小児科、埼玉医科大学総合医療センター小児科などの勤務を経て、平成12年より青森県立中央病院小児科に務める。平成16年には同病院内にある総合周産期母子医療センター新生児科部長に就任し、平成24年に医療情報部次長を兼務。平成28年からは同センター内に成育科を起ち上げ、成育科部長及び副センター長に就任。

しづや やすのり
澁屋 康則 氏

国立身体障害者リハビリテーションセンター学院卒業後、福島県立リハビリテーションセンター、五戸総合病院勤務を経て、弘前ホスピタリティアカデミー(現弘前医療福祉大学)言語聴覚療法学科の設立に携わり教鞭をとる。その後、国立障害者リハビリテーションセンター病院リハビリテーション部言語聴覚療法士長を務める。(高次脳機能障害情報・支援センター併任)現在、総合リハビリ美保野病院リハビリテーション科スーパーバイザー、弘前医療福祉大学・子ども発達支援センター「虹」の非常勤職員。

いくの りか
生野 里花 氏

横浜市立大学独文科、ウェストチェスター大学音楽学部ピアノ科卒業、イマキュラータ大学音楽教育・療法学部音楽療法士課程修了、コロンビア大学教育学部芸術修士・教育学修士課程修了。帰国後、調布市総合福祉センター障害児音楽療法事業、聖ルカレジデンスなどで音楽療法士として勤務。日本大学、桐朋学園大学、東京芸術大学音楽学部及び大学院応用音楽学科などで教鞭をとる。現在、お茶の水女子大学基幹研究員、東海大学教養学部芸術学科音楽学課程非常勤講師、野花ひとおんがく研究舎主宰。日本音楽療法学会認定音楽療法士、米国音楽療法協会公認音楽療法士MT-B C

シンポジウム司会
またた さとこ
町田 徳子 氏

青森県社会福祉事業団(現 青森県すこやか福祉事業団)に入社し、成人や児童施設で勤務。自閉症・発達障害専門支援機関「NPO法人それいゆ」にて研修後、青森県発達障害者支援センター「ステップ」でセンター長を務め現在に至る。臨床発達心理士、幼稚園教諭・保育士、介護福祉士、社会福祉士、TEACCH®自閉症支援プログラム公認臨床家

申込方法

青森音楽療法研究会ホームページ
https://aomori-mta.org/seminar_form/
の申込フォームに必要事項を記入して送信ください。右にあるQRコードからもアクセスできます。(電話でのお申込みはご遠慮願います。)



会場



申込締切

2018年1月29日(月)

問い合わせ



NPO法人青森音楽療法研究会 事務局
TEL: 090-6258-7881
mail: mt_aomori@yahoo.co.jp